

(公財)後藤・安田記念東京都市研究所

(旧・東京市政調査会)

第38回『都市問題』公開講座

「足」を守る—地域公共交通の将来

2014年6月21日(土)13:30~16:30

日本プレスセンター 10階ホール

(〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1)

基調講演

原 武史 氏 (明治学院大学国際学部教授)

パネルディスカッション

市川 嘉一 氏 (日本経済新聞社記者)

幸山 政史 氏 (熊本市長)

望月 正彦 氏 (三陸鉄道株式会社代表取締役社長)

若菜 千穂 氏 (特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センター常務理事)

新藤 宗幸 (後藤・安田記念東京都市研究所研究担当常務理事) <司会>

参加費：無料

参加申込み：後藤・安田記念東京都市研究所ホームページ(<http://www.timr.or.jp>)からお申込みください。

申込み期限：2014年6月18日(水)

※満席となりしだい受付を終了しますので、お早めにお申込みください。

問合せ先：後藤・安田記念東京都市研究所 研究室 TEL：03-3591-1261、FAX：03-3591-1279

『都市問題』公開講座は、公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所(旧・財団法人東京市政調査会)の発行する月刊誌『都市問題』の特集などから時宜に適ったテーマを選び開催しています。

第38回は次のような趣旨により、「『足』を守る—地域公共交通の将来」をテーマとして開催いたします。多数の方々のご参加をお待ちしております。

【開催趣旨】

大都市圏以外の地域における公共交通は、人口の過疎化やモータリゼーションによって衰退し、とりわけ高齢者の「移動の権利」を脅かしてきた。ところが、高齢化は今後大都市圏において急速に進行すると予測されている。いわば、日本全体にわたって大量の「移動弱者」の出現が危惧される。こうした状況下の2013年12月、交通政策基本法が施行された。自治体は市民の「足」を守るために、持続可能な地域公共交通をどのように築いていくべきなのだろうか。